

# 尚 和 会 会 報

2008  
平成20年5月1日

## 思い出とともに拡がる同窓の輪

我が校で学び育ち  
開花した人々...

**鴨居 洋子**(高女1)  
下着デザイナー・故人

**島田 陽子**(高女6)  
作詞家

**前田 憲男**(高5)  
ピアニスト・作編曲家

**今枝 弘子**(高5)  
現校歌作曲者

**永田 俊夫**(高5)  
現校歌作詞者

**一色 貞輝**(高6)  
前豊中市長

**宇多 喜代子**(高6)  
俳人・現代俳句協会会長

**唐渡 吉則**(高10)  
スポーツコメンテーター ミスター・トラ

**前田 信輔**(高15)  
ゴルフ日本トップアマ

**田中 幸子**(高17)  
シャンソン歌手

**奥村 豊**(高17)  
ギタリスト

**阪上 順**(高18)  
かんべむさし・作家

**奥田 敏輝**(高19)  
元阪神タイガース投手・故人

**山城 彰**(高19)  
桂春之輔・落語家

**山澤 健二**(高29)  
笑福亭仁勇・落語家

**真田 豊美**(高30)  
マジシャン・指先の奇術師

**日比 浩一**(高32)  
ヴァイオリニスト

**河井 律子**(高34)  
河井リツ子・漫画家

**幸田 さと子**(高40)  
ヴァイオリニスト

**田中 直樹**(高42)  
ココロコ お笑いタレント・俳優

**桐谷 健太**(高50)  
映画・テレビ俳優



### 尚和会總會のごあんない

平成20年5月18日(日)

ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎06-6849-1111)

- 総 会 ..... オーキッドホール 12:00~12:45
- アトラクション(落語二題) ..... 13:00~13:45
- 懇親会 ..... 14:00~15:30

食事はシッティング・ブッフェスタイル

■ **ビンゴゲーム**

アトラクション出演者プロフィール

・桂春之輔(本名 山城彰)  
演目「死ぬなら今」  
高校19期  
1965(S40)年10月、三代目桂春団治入門  
松竹芸能所属

・笑福亭仁勇(本名 山澤健二)  
演目「ちりとてちん」  
高校29期  
1977(S52)年4月、笑福亭仁鶴入門  
吉本興業所属




桂春之輔      笑福亭仁勇

■ 会 費 ..... 4,000円 (2004年以降の卒業生2,000円)

### Contents

- 尚和会会長・学校長ごあいさつ ..... (2)
- 学校だより ..... (3)
- 母校クラブだより ..... (4)
- 進路状況 ..... (6)
- 70周年記念式典 ..... (7)
- 尚和会通信・各期連絡先 ..... (8)
- 尚和会決算・予算報告・役員紹介 ..... (9)
- 創立70周年記念事業の寄贈・記念品一覧 (10)
- 斎藤忠芳氏叙勲 ..... (10)
- 新聞投稿より ..... (10)
- 同期会報告 ..... (11)
- 同期会開催予告、教職員人事異動 ..... (13)
- お便りから ..... (14)
- 物故者芳名簿 ..... (16)
- 平成19年度会報代・協力金 ..... (17)
- 総会・懇親会 ..... (20)

発行——尚和会 発行・編集責任者 大島 光昭

会長就任にあたって



尚和会会長  
大島 光昭  
(高十五期)

若葉萌ゆる好季節、尚和会会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は母校ならびに尚和会に暖かいご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

田中前会長のご勇退に伴い、この度の役員改選で選出され、第十一代尚和会会長に就任いたしました高十五期の大島光昭でございます。

顧みますと、平成八年副会長を拝命以来十二年、尚和会の活性化のため、皆様のご支援のもと微力を尽してまいりました。

副会長就任の年に財務を担当し、かねてから懸案の尚和会の財政建て直しについて、早急に抜本的改革に取り組み必要性から「財政見直し委員会」を設置し、財政維持の方策を協議検討し、会報の有料化が承認され、二年間のPR期間を経て、平成十一年度より実施され今日に至っております。

納入者数は平成十九年度で約二千四百八十余名で、会員住所判明者数からしましてもおよそ一〇・四％程度で、年毎に納入者数は増加で推移しています。

更なる尚和会の活動を幅広く理解していただき、若い年次会員の参加を促す努力を続けていくことが重要だと認識しております。

次の広報は平成十四年度より担当。会報誌の読み易さの面から、紙面サイ

ズと活字を大きくし、更にページ数、カラー写真を増やし、母校の現況、尚和会の活動状況、会員各位からの原稿も出来る限り掲載するよう努めてまいりました。

さて、昨年五月二十日、ヒルトン大阪で開催されました、母校創立七十年記念尚和会総会は、総勢三百六十余名の来賓、会員諸氏のご出席を賜り、余席無しの会食で盛大に終えることが出来ました。

次の八十周年、九十周年、そして百周年には、尚和会の若い期の会員パワーが最大限に発揮されるよう願って止みません。

今後は責任の加重されましたことを痛感し、非才に鞭打って、母校と尚和会の発展に精一杯尽す所存でございますので、今後一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

七十二年目も大きく元気に翔たく！



桜塚高校校長  
西郷 正人

今年の春の、正門の「枝垂れ桜」は「創立七十周年」に寄せて頂いた皆様方の熱い想いと手厚いご声援に添えてくれたかの様に、凛とした気品の中にも、確かなポリウム増と一段と冴える美しさを見せてくれました。

周年事業を控えた昨年は、五月の尚和会様の「桜塚高校創立七十周年記

念総会」：五期生前田憲男様と四十期生幸田さんと子様との共演で始まり、十一月の「桜塚高校創立七十周年記念事業」では熱狂的な記念行事：先輩と現役生の繋がりを深める、「元氣溢れるセッション」を敢行することが出来ました。卒業生である皆様方やその時々集われた先輩諸氏が脈々と培われ、今も桜塚が誇りとする「粘り」の中での、明るく元氣な自主・独立」が体現されていたと感じていました。フォーキング研究会OB・OG・現役生の「翼をください！」、定時制生徒達の「ヨザクラ」、そして吹奏楽部演奏に合わせて熱唱された「校歌」など：いまだに胸内に響きわたっている想いです。

また二月には四十五年前に制作された、十五期生の卒業作品と言われる「若者像」の三十数年振りの校内設置を、高女一期生越水ユリ様と全日制定時制の両自治会生徒達同席の下に除幕式を持つという形で実現させて頂きました。先輩の熱き想いを具体的眼差しで日々後輩たちに注いで頂いている想いがしております。平成十七年度の準備委員会発足から平成二十年三月の最終実行委員会まで、関係者皆様方の想いを結集して頂きました。尚和会、PTA、振興会、桜塚会の役員委員の皆様には感謝の思いでいっぱいでございます。なかんずく、この間、尚和会田中会長様には大きく温かい抱擁に満ちたお心で実行委員会をご指導くださり、桜塚に大きな大きな節目を確立して頂きました。

桜塚の取組みのいずれの場におきましても、尚和会の皆様方には常に温かく見守って頂き、また熱い熱いご支援を頂戴しておりますことに、後輩た

ちは勿論のこと、我々教職員にとりましても大きな力付けとなっており、誠にありがとうございます。ここに心より御礼申し上げます。この節目の中を、全日制定時制合わせて三百二十名の後輩が元氣よく桜の門を飛び出し、また一方新たに約四百名の若者が、七十一年目の桜の仲間として歩き始めています。



西郷学校長式辞

現在、高校に在籍する生徒達は、経済至上主義の環境の中、「ゆとり」の中での学び「生きる力」等々が大きく云われ反映した学校教育のもとで育ってきた子ども達です。ですが思考力を中心とした学力低下が社会で取りざたされてもおり、また他者の心の痛みや命の尊厳への希薄な意識がそのまま行動に直結している事象が



頻繁に生起している時代でもありません。

学校を取り巻く情報、地域や社会のニーズは正しく受けとめながらも、今桜塚の門をたく生徒たちには、「確かな学力」を確立するための「自学自習の学び」と「豊かな心」の「はぐくみ」を実現し、それらを基盤とした「生きる力」の育成を：勉学・部活動等の両立探求の粘り」と、その過程での人間力の醸成で桜塚らしく着実に深めさせ、それらを将来の「社会的な自立（自律・共生・貢献）」に繋いでいける「明るい力」の育成に努めたいと思います。

地域に愛され、支えられている桜塚高校を今後とも、より進化させ発展を続ける桜塚とすべく生徒たちはもとより私も教職員も元気に励みたいと思っております。今後ともいっそうのご指導ご支援をお願い申し上げます。

退任のご挨拶



前尚和会会長  
田中 渡  
(高十一期)

若葉が輝く爽やかな季節を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、会長在任中は役員理事の皆様はもとより、会員の皆様には多大なるご支援ご鞭撻を賜りましたことを心からお礼申し上げます。とりわけ昨年は母校桜塚高等学校創立七十周年を迎え、春の総会をヒルトンホテルにて多数の方にご臨席いただき、盛大に開催できましたことを感謝いたします。ま

た、秋の学校主催の七十周年式典には尚和会、学校、PTA、定時制振興会、桜援会等のご協力のもと大阪府教育委員会、豊中市教育委員会、近隣の高等学校長をはじめ関係機関各位のご臨席を賜り、厳かななか盛大に挙行されました。尚和会会員の皆様にも多くのご参加をいただき有難うございました。

六年間の会長在任中には、五年毎の年会報の無料発送と同期会開催助成金を設け、会員相互の交流と親睦を図りました。さらに、尚和会活性化委員会を立ち上げるなど種々模索してまいりました。

先輩から受け継ぎました積立金および事業積立金の資産を増やすことあれ減らすことなく次の世代に引き渡すことができましたのは皆様方のご協力の賜物でございます。

今年度の役員の皆様は、経験豊富なベテランに活力あるフレッシュな人が加わり大島新会長のもと、尚和会を盛りたてていただけることを確信いたします。

今後の尚和会のますますの発展と皆様方のご多幸ご健勝を祈念申し上げます。お礼のご挨拶いたします。

### 再配置の定時制課程に着任して

定時制課程 准校長 関 省子

尚和会の会員の皆様、昨年四月に大阪府立桜塚高等学校の初代副校長を拝命しました。『本校五十年のあゆみ』を開きますと、昭和二十三年九月、定時制課程が発足したと記してあります。当時、昼の課程を教えておられた武井先生、武田先生、直江先生の三人

が定時制を兼務されました。「電灯の設置もなく物理教室だけが、電灯が点いたのでそこを使った」と書かれています。それから六十年、勤労する若者たちの学習の場であるだけでなく、様々な課題を持った人たちの学びの場として、二十九校の定時制課程の高校が再編整備を受けた中で、平成十七年に本校を含め十五校の定時制課程が再配置を受けました。その結果、普通科・単位制・二学期制となり三年。副校長の設置は、主に定時制課程のある高校や大規模の支援学校に対して行わ



関准校長より卒業証書授与



尚和会田中会長から花束贈呈

れ、各課程や部の生徒のために、一層きめ細かな教育ができるようにという目的があります。私は、平成十三年まで、本校全日制課程に勤務しており、再び副校長として勤務できることを懐かしく、また嬉しく思っております。

定時制の生徒の中には、昼間は仕事をしている人、障害がある人など様々な人がいます。再配置後の本校の特色は、デリバリー給食を実施し、希望者は夕食を食べて授業が受けられるということ。基礎・基本を学びながら、二年次から類型を選択し、三年次から自由選択授業で、個々の生徒のニーズに合うような科目を選んで学習できることです。午後五時からのゼロ限授業、土曜開放講座を利用して単位の取得も可能です。クラブ活動も活発で、毎年どこかのクラブが近畿大会や全国大会に出場し、賞状やカップをもらっています。年齢の違う生徒同士がお互いに学び合っています。働きながら学ぶ生徒は、仕事を持たない生徒に、よい刺激を与えています。障害のある生徒と共に学ぶことで、思いやり・人間としての繋がりが、温かい心の交流も生まれています。生徒たちが、作詞・作曲した歌「ヨザクラ（夜桜）」



よく頑張りました

には、定時制の生徒たちの思いがこもっています。昨年十一月十八日には、定時制生徒も本校創立七十周年の記念式典に参加し、軽音楽部が式典二

部で「ヨザクラ」を歌いました。

「持ちきれない 不安やイタさも あったけど今は感じる 大事な喜怒哀楽を ええもん いっぱい もってるんやから まだまだ あきらめないで 歩き続けよう」

最後になりましたが、尚和会の皆様には平素から、定時制課程にご理解とご支援を賜りましてありがとうございます。また、卒業生の皆さん、是非、尚和会で大阪府立桜塚高等学校での温かみのある人間交流を思い出し集まっていたいただきますことを期待致します。

### 学校だより

#### 六十期生の卒業にあたって

第三学年主任 河村 光子

この数日冷え込みが厳しく雪がチラチラ舞ったりしています。六十期生は、センター試験も終わりいよいよ受験本番です。私大のセンター利用が増えた事もあり、今年のセンター受験者数は非常に多かったです。が、いよいよという時になって浮き足だったり、周囲に惑わされたりという生徒もおり、一年次からの地につけた学習こそが必要だと痛感しました。

入学以来、基本的な生活習慣を確立し学習面、部活動、クラス活動に自主自律の精神を培かおうとして来ましたが、どこまで達成できたか反省することしきりです。

しかし生徒達はあくまでも元気に、前向きにくじけることなくやっていきます。七十周年記念誌にも書きましましたよ

うに「温かい心を持ち、勉強もクラブも学校行事もがんばる」という桜塚高校生の伝統は受け継がれていると思います。

今、学校は特色作りを求められています。桜塚高校は普通科の良さを持つた学校です。そこで六十期生と共に三年間過ごせたことを本当に嬉しく感じています。

#### 六十一期生の

#### 修学旅行を終えて

二年学年主任 田中 淑

私たち六十一期では、昨年同様オーストラリアへの海外修学旅行を実施しました。同じことを二度やるだけでは面白くないので「現地の人々の生活に直に触れるミニ留学体験しよう」をテーマに、ファームステイをメインに企画しました。ホテルでの宿泊ではなく班ごとに直接オーストラリアの人々の家に宿泊するのです。

直前になって関空からの毎日の出発が突然なくなり、後発B団の四クラスは中部国際空港からの出発を余儀なくされるといことも起こりました。が、十月一日夜いよいよA団が出発。八時間あまりのフライトの後、ケアンズに到着。荷物の整理もそこそこバスに乗って世界遺産に登録されているレインフォレスト見学に向かいました。そして、その日の夕方、それぞれのステイ先のファミリーと顔合わせ、全員が私たちの手を離れてファームに分散して行きました。何と言っても初めての体験なので、病気や事故が起こったらどうしよう、生徒の中には様々なアレルギーをもった者もいるし、食



事にもうまく適応できるだろうか、ホ  
ストファミリーとトラブルは起こらな  
いだろうか、慣れない宿泊で精神面  
も不安定になるものが出ないだろうか  
など、ありとあらゆる事態を考え、そ

の対応に頭を悩ませました。

ところが、その心配も翌日、一遍  
に吹き飛んだのです。次々と戻って  
くる生徒たちが、生き生きとした表情  
口にするのは「メチャ楽しかった。よ  
かった。もっと居てたい」ばかり。ホ  
ストファミリーと記念撮影の後、別れ  
を惜しんで涙ぐむ生徒もいたり、俄オ  
ーストラリア人になった生徒も少な  
らず居たのには笑いましたが、この時  
点で私たちの企画した修学旅行は半ば  
成功したと実感したのでした。普段は  
おとなしく活動的でもない生徒が信じ  
られないくらい明るく活発な一面を見  
せてくれるのを目にしたことも大きな  
収穫でした。

その日はホテルに宿泊。次の日は  
グリーン島でのマリンスポーツとケア  
ンズ市内研修。真つ青な海と空、白い  
砂浜。紫外線の強さは予想してた以上  
に強く、オーストラリアはさすがに違  
うと感じたのもこの時。生徒たちが開  
放感に浸った一日でした。最後の夜を  
ホテルで過ごし、最終日はケアンズ市  
内で土産物など自由に買い物を楽し  
み、ケアンズに別れを告げて帰路につ  
きました。帰りの機内では一部の生徒  
のマンナーの悪さにひんしゆくを買った  
のが少し残念でしたが、今回の旅行に  
ほぼ全員が満足してくれて、両団とも  
無事帰阪することができました。保護  
者の皆様には多大な費用の負担をおか  
けしましたが、それだけのものが得ら  
れたのではないのでしょうか。とにかく  
無事終了できたことは、企画準備した  
私たち担任団の大きな喜びです。生徒  
たちには、この旅行で得られた貴重な  
体験を今後の生活の中に生かしてほし  
いと願っています。

### 母校クラブだより

#### 水泳部

顧問 河野 太

元気あふれる六十期生が卒業し、六  
十一・六十二期生が間近に迫った短い  
夏に向け全力で練習に取り組んでいま  
す。二〇〇七年は桜塚水泳部にとって  
非常に大きな収穫があった年でありま  
した。定期考査の一週間前及び定期考  
査中に一時間程度の軽い練習を行うこ  
とを許可されました。そのおかげで大  
切な短いシーズンに練習が途絶えるこ  
となく、たくさんさんの選手が厳しい練習  
に耐え確実に記録を伸ばしました。シ  
ーズン最終戦の新人大会においては、  
ここ近年実現できていなかったリレー  
での決勝進出をも果たしました。選手  
層の薄い公立高校しかも普通科におい  
ては、四人の有力な泳者が揃うことは  
滅多になく、だからこそ貴重な体験な  
のです。この決勝進出はリレーメンバ  
ー四人の功績はもとより、厳しい練習  
でも全員で力を合わせ、自らに厳しく  
前向きに取り組む続ける体制を作って  
きた部員全体の功績でもあります。ま  
たその基礎を作ってきた過去の水泳  
部、指導に訪れた卒業生などたくさん  
の要素が支えとしてあったことも忘れ  
てはなりません。冬には大阪高体連主  
催の水泳練習会にも若干名ではあるも  
のの参加もいたしました。そして本年、  
部員一人一人の自己記録への挑戦がす  
でに始まっています。水泳は個人競技  
であります。しかしながら、一人だけ  
で練習するよりもチーム全体で力を合  
わせて取り組むほうが、個人の力も強

くなるというものです。個人競技であ  
りながらもそういった一面を忘れるこ  
となく、自分が置かれている状況を認  
識し、ふさわしい行動がとれる人間に  
進化すべく日々精進する所存でありま  
す。そしてこの夏、我々水泳部は真摯  
に会心の一泳を追い求めるのです。

#### 硬式テニス部

二年七組 西山 実佑

平日のテニス部の練習は、一年生は  
外周を二周走って、その後筋トレを  
して終わったら二年生と一緒に打ちま  
す。二年生は、最初にショートラリー  
をして、ロングラリーやクロスラリー  
をした後に、サーブ練習やダブルスの  
練習をしたりしています。平日は打  
てる時間が短いけれど、がんばって練習  
しています。休日の日は、平日よりも  
クラブをする時間が長いので、いつも  
やっている練習の他に、ボレーの練習  
や球出しや試合などをやっています。  
テニスの大会では、女子は第一回戦  
ぐらいまで進みますが、それ以上あま  
り勝てないので、今は試合で勝ち進む  
ことができるように練習しています。

去年の秋の団体戦の大会では、予選の  
決勝まで進み、決勝で負けてしまった  
ので悔しかったです。  
もうすぐ二年生は引退なので、大会  
で少しでも良い成績が残せるように練  
習をがんばっています。これからみ  
んなで楽しくクラブをしていきたいと  
思っています。

#### 箏曲部

部長 後藤 知里

入学して間もないころ、本当は違う  
部活に入ろうとしていました。けれど

その部活の活動日が分からなくて、私  
は担任の先生に相談しました。その時  
に誘われたのが箏曲部です。部員数が  
少ないので、見学に来てほしいと言わ  
れ、顧問の先生の後をついていきま  
した。部室である作法室は学校では初め  
て見る和室で、独特の雰囲気少し圧  
倒されたのを覚えています。

緊張しながら部室に入ると、畳の匂  
いが香る中で先輩方の弾く琴の音が柔  
らかく響きました。少人数でも、琴の  
重なる音はとても綺麗だったのです。  
早速体験させてもらうことになり、  
「さくら」という曲のサビの部分を見  
せてもらいました。琴を実際に見るの  
は初めてで、もちろん触ったこともな  
かった私は琴を弾く爪選び、楽譜の読  
み方を一から教わりました。琴の楽譜  
は五線譜に音符ではなく、主に漢数字  
で表記された変わった楽譜でしたが、  
意外と簡単で分かりやすいものでし  
た。何より自分で音を出せるというこ  
とが楽しかったのです。私は迷わず入  
部することに決めました。

それからの三年間、とても有意義な  
活動をさせてもらいました。週二日の  
活動は一曲一曲をきちんと完成させる  
には少し物足りませんでしたが、新し  
い経験は充実していました。新入生歓  
迎会での演奏、桜塚を見学に来た中学  
生の前での演奏は出来るだけ多くの  
人に琴への興味を持ってもらえるよう  
に演奏しました。

一度だけ、ボランティア活動にも参  
加しました。図書館で小学生を対象に  
琴の体験会を開きました。予想してい  
たよりもずっと大勢の方が参加して  
くださり、目の前で演奏するのは緊張し  
ましたが、温かい拍手がとても嬉しか

つたです。ほんの少し教えただけで、自分からすいすいと弾けるようになった小学生がたくさんいたのも驚きました。皆が琴に対して興味をもち、楽しそうに弾いてくれたことが、一番嬉しかったことです。

毎年文化祭では体育館の舞台と中庭で演奏をします。舞台では短い時間ではありますが、きちんとしたステージで弾く機会はこれぐらいなのでとてもやりがいがあります。中庭では日本庭園さながらの雰囲気の中で演奏でき、校舎の壁に反響して音色が響くので琴の魅力を十分に味わってもらえるのではないかと思います。二回目的文化祭からは一般の方にも琴を体験してもらええる企画も立ち上げました。近寄り難いように見える琴ですが、入部したころの私と同じでまったく経験がなくともすぐに弾けるようになります。ご年配の方だけでなく、ボランティアの時のように小さい子でも興味をもってくれる人は多く、琴のもつ魅力を体験してもらえたとと思います。

創立七十周年記念式典では、入部して以来の初めての大きな舞台となりました。残念ながら先輩方と都合が合わず、全員そろって演奏するのは本番当日のリハーサルが初めてとなり、それまでに一度も合わせるものの出来なかった先輩もいらつしたりと、不安や緊張も多々ありました。しかし先輩方の温かい励ましや頑張りを見て、自分達も頑張ろうと気合を入れ直しました。演奏するのは「六段の調」という琴でも有名な曲です。一曲約十分もある長い曲ではありましたが、全員一丸となって演奏させていただきました。桜塚の長い歴史へのお祝いとその一端

となれた感謝、そして高校生活最後の舞台として部員一同一生懸命取り組んだ行事でした。

長い長い三年という高校生活のなかで、最初に私を変えたきっかけがこの琴との、箏曲部との出会いでした。出来るだけ多くの人に琴に興味をもってもらいたいと活動してきましたが、それ以上に自分自身ももっとと琴の魅力に触れ、琴を好きになる三年間でした。これからは琴を好きになってくれる人が増え、多くの人に琴を身近に感じてほしいと思います。少しでも琴に興味を感じたら、気軽に体験しに来てください。

茶道部

二年 河野 伶香

茶道部は、昨年五十周年を迎えた伝統のある部です。お稽古の道具もそろっていて、季節に応じてお点前を変えていきます。週に一度、茶道の先生方がお稽古を見に来てくださいます。いつも熱心に指導してくださいます。文化祭では、浴衣を着て、中庭でお客さんにお茶を出します。夏には禅寺に行つて、三日間合宿を行います。お寺という落ち着いた環境の中でお点前をするので、早く上達します。お稽古ばかりではなく、当番で食事の準備をしたり、花火なども皆で楽しみます。他にも、交流茶会などで他校の茶道部の方達とお茶会を行つたり、京都の大徳寺で営まれる利休忌に参加するなど、積極的に活動しています。

そして茶道部の一番いいところは、部員の仲がとてよく、皆が楽しんで部活をしているところです。先輩も後輩も関係なく、来てくださる先生方と

もおしゃべりしたりするので、とても楽しいです。お稽古の時は集中して、「やるときはやる」というけじめがついているところもいいところです。お稽古の後にはお茶とお菓子をいただき、皆で楽しくおしゃべりをします。時々卒業した先輩方が来てくださったりして、茶道部は毎日とてもにぎやかです。これからは茶道部はお稽古に励みながら、楽しんで部活を続けていこうと思います。

演劇部

一年 木下絵梨香

ここ数年演劇部は休部状態で、今春廃部になる予定でしたが、私達三人が入部して、続くことになりました。先輩方がいないので、どうしたらいいのか分からずに戸惑うことも多々ありましたが、夏休みに、五年前の先輩達が来校し指導して下さい、とても心強く嬉しく思いました。又、夏休みに岡町図書館の絵本読み聞かせ活動や、大阪府全体の演劇部員対象の演劇講座に参加したことも良い体験となりました。

文化祭で発表した「スーホーの白い馬」の練習は、文化委員や他のクラブも兼ねたりしている三人の予定や息がなかなか合わなかったり、音響や背景等の準備の遅れがあったり、なかなか上手いきませんでした。台詞と音響をぴったりと合わせるのに苦労し、「もうヤメたい」と思つたりもしました。それでも頑張れたのは、一生懸命取り組む仲間同士心のつながりがあったからです。演劇部は再開されたばかりなので、部室がないので、活動日には、空き教

室で発声練習をしたり台本読みをしたりしています。三人では人数が少なくても、できる劇の内容も限られてきます。私たちとしては、部員が増えてくれることを願いますが、その反面、うまく先頭に立っていきけるかという不安もあります。失敗を恐れていては何もできないので、みんなで協力して、積極的に活動に取り組み、外部とのつながりも大切にして、「演劇部」を作りあげていきたいと思っています。

写真部

顧問 鶴川 普

一九九一年から休部していた写真部（光画部）が活動を再開しています。まず、部員一人で同好会として再開し、部員数が増えないまま四年が過ぎ去り、部員七名になった昨年には部に昇格することができました。

活動再開当初から大阪府立高校芸術文化連盟（芸文連）主催のモデル撮影会やネイチャーフォト撮影会に参加し、モノクロフィルムの撮影テクニックを磨きました。同じく芸文連主催の写真技術講習会にも参加して暗室現象技術を学び、全紙の焼き付けまでこなすようになっていました。

現在の活動は、デジタルカメラの性能が良くなり値段も安くなり、また、フィルムが入手しにくくなったこともあり、デジタルカメラで撮影し、パソコンを用いて処理（トリミング・画質補正・加工）を行っています。

暗室の暗闇の中から映像が浮き上がってくる感動はなくなりましたが、撮影結果をすぐにチェックでき、撮り直しが直ちに行えるので、失敗を恐れなくなつてよくなった分、フィルム時代よ

り、作品づくりに取り組みやすくなったのではないのでしょうか。暗室跡を拝見しますと、先輩の方々は四×五やプロニーを扱って作品づくりに励んでおられたようですが、これからは扱うこともなくなると思うと残念でなりません。

書道同好会

顧問 長谷川伸子

もう三十年も前の事です。その頃の桜塚高校の書道科には原田正憲先生がいらつしやいました。新人の何も分からない私にとって、原田先生は眩しく、偉大でした。その後近藤先生、来住先生を経て、縁あつて平成十八年度本校に着任しました。近年は多くの学校で書道部の活動が振わず、着任した時には本校も書道部が廃部になっていました。本年度より生徒に声掛けをして、書道同好会を発足させました。現在会員は三年生二人、二年生二人、一年生三人です。運動部との兼部の生徒もいますが、各々自分のペースで熱心に取り組んでいます。

第一ブロック書道展、府下高校書道展などの他、国際高校生選抜書展・武庫川女子大学や四国大学主催の書道展など、意欲的にコンクールに挑戦しています。少人数で和やかな同好会ですが、地道な努力を重ねて書の愛好者の輪を広げてゆきたいと考えています。そして、三年の経過を経て「部」に昇格させたく、微力を尽くしてまいります。

尚和会の皆様、書道部に在籍されていた方、そうでない方、どうぞ母校文化祭などで書道同好会の展示をご覧になつて下さい。そして、後輩達に良きアドバイスや刺激を与えて下さい。

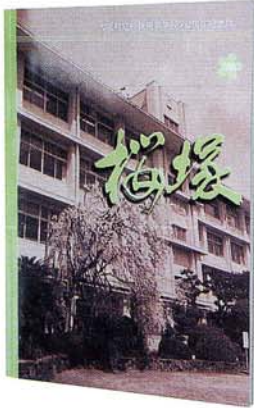
# 「若者」像 除幕式

校内理事 河野 太  
(高四十四期)

創立七十周年記念事業の一環として若者像の修復が二〇〇七年十一月に完成し、去る二月十五日にロッカールームに設置し、高女一期越水ユリ様と全定生徒自治会執行部の生徒の皆さんの手で除幕式を行いました。

およそ三十年の時を経て、かつて旧校舎の中庭に存在した若者の像が再びその姿を現しました。昨年七十周年記念事業を行うにあたり、何かと学校のことを調べていくうちに、その存在が新たに認識されたのがきっかけです。見つかった時、美術の山崎先生の興奮振り振りのすごいものを感じました。どうやらこの像、高十五期生(昭和三十八年卒)の方の作品らしいということまでは明らかなのですが、製作者の特定は出来ていません。像が再び学校に飾られていることが、作者の耳に入ればさぞかしお喜びになられることでしょう。またこの像のように逞しく桜塚高生が育ちますように!!

## 創立70周年記念誌紹介

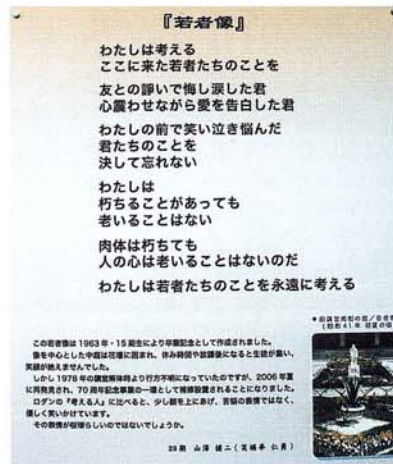


A4版106頁「現校長、歴代校長他の巻頭言、桜塚の歩み、全日制この10年、定時制この10年、企画(卒業生のメールによる投稿)、コラム、資料・記録」から構成されています。発行日2007年11月18日

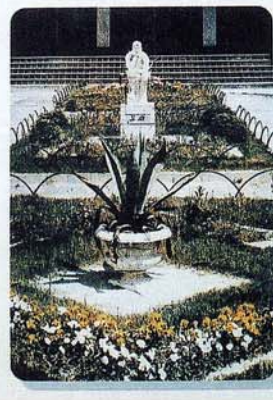
※記念誌の103頁、年度別卒業生一覧表の中で、豊中高等女学校の表の一部誤りがありました。

### 年度別卒業生一覧表 豊中高等女学校 訂正分

卒業年度	期生	卒業生		
		男	女	計
昭和16年	1		235	235
17	2		231	231
18	3		245	245
19	4		204	204
20	5		293	293
21	6		261	261
22	7		272	272
23	8		224	224
小計			1,965	1,965



●旧講堂南側の庭/若者像 (昭和41年初夏の頃)



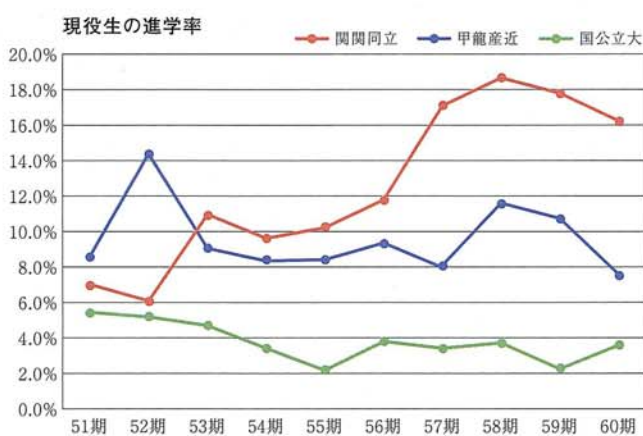
## この二年間の進路状況について

進路指導部長 望月 浩平

平成二十年一月にPTA主催協力という形で外部模試の校内実施が一、二年生対象に土曜日に行われ、八〇%を超える生徒が受験しました。また四月には学習生活実態調査を実施し、現実を認識した上で、希望進路実現に向けた意欲喚起に努めています。

現役生の進路状況は、四年制大学へ六割が進学していますが、一方浪人が男子で増加し、現役生の進学率に反映しています。センター試験にも六割の生徒が出願しますが、国公立の実績によれば今後の課題が見えます。難関校は、もう少し早くから欲を出して狙ってほしい気もします。

東館一階の進路指導室には、資料や過去問を揃え、多くの三年生が利用し、



大学名	2007年	2008年	大学名	2007年	2008年
国公立大学	2007	2008	主な私立大学	2007	2008
大阪教育大学	2	1	関西大学	80	64
大阪外国語大学	1		関西学院大学	34	27
大阪市立大学	4	2	同志社大学	10	7
大阪府立大学	3	1	立命館大学	20	19
神戸大学	1	1	甲南大学	40	23
兵庫県立大学	1	2	龍谷大学	41	34
京都市立芸術大学		1	京都産業大学	9	4
京都工芸繊維大学	1		近畿大学	55	54
和歌山大学	1	1	甲南女子大学		18
奈良教育大学	1	1	武庫川女子大学	34	16
山口大学		1	追手門学院大学	12	13
鳥取大学	1	1	佛教大学	7	
大分大学	1		関西外国語大学	7	29
富山大学	1	1	大阪工業大学	6	9
秋田大学	1		大阪経済大学	16	18
高知大学	1				

### 二〇〇七・二〇〇八年度入試合格者数 (浪人含む)

隣の資料室も、受験勉強の自習室に活用されています。管理上の制約もありますが、年末年始もギリギリまで利用していました。エアコンがあれば夏場も重宝するでしょう。三年生と話をしていると、桜塚高校をもっと良くしたいという話を聞きます。これは全ての卒業生の願いなのだと思いますが、応えるべき責任を感じるとともに、少しでも返していきたいと思えます。母校へ是非足を運んで下さい。

前号会報では二〇〇七年度分は掲載できませんでしたので、今年度と二年分掲載しました。

七十周年記念式典の思い出

高四十四期 数学科教諭 河野 太



この文章を書くことが、私の母校桜塚での最後の仕事になるうとは当時夢にも思いませんでした。平成十九年十一月十八日、早朝から緊迫した空気が我々実行委員を包んでいました。十三時三十分、約二年間にわたって行われた準備委員会・実行委員会によって案が煮詰められてきた大阪府立桜塚高等学校創立七十周年記念式典は、豊中市民会館において厳かに執り行われまし...

できるだろうか？ 読み間違いしないうだろうか？ しかし一度幕が上がれば不安がつている暇などなく、前進あるのみでした。第二部司会でこれですから、第一部を司会された大西先生のプレッシャーは想像しがたいものであったにちがいません。

第二部の内容は桜塚高校の歴史・全日制文化系クラブの発表の場・定時制軽音楽部など。中には全日制フォークソング研究会の卒業生と現役生の軽音楽部によるセッションもあり、桜塚の卒業生にとっては非常に興味深いものであったのではないかと感じております。また、一期生の越水さん、高田さんにも舞台上上がっていただき歴史を語っていただいたこと、五期の永田さんによる校歌作成の経緯のお話、数々の大先輩の桜塚に対する思いの強さに誠に感謝いたしております。まさに桜塚の校訓である明朗・敬虔・奉仕が随所にあらわれた約百分間でありました。あたふたと時間が過ぎていったように感じた第二部ではありましたが、なんと予定時間を三十分以上もオーバーしていたのでした。時間調整の難しさも初めて知りました。しかし私にとっては生涯二度とできない母校への恩返しであり、嬉しい時間でありました。

塚高等学校創立七十周年記念事業、たった一度のこのチャンスに関与させていただく機会を与えてくれたことに感謝の念を抱かずにはいられません。そしてこの桜塚が八十年、九十年、百年と末永く発展していくことを願うばかりであります。

写真撮影・大島光昭(高15)



司会・桑田(右)、河野両教諭



受付風景



高女期時代を語る



吹奏楽部(全日制在校生、卒業生)



箏曲部「六段の調」(全日制在校生、卒業生)



高女期時代を語る



西郷学校長



軽音楽部「サクラ」(定時制在校生、卒業生)



ダンス部(全日制在校生)



音楽部(全日制在校生、卒業生)



田中実行委員会委員長



フォークソング研究会(全日制在校生、卒業生)



軽音楽部(全日制在校生、卒業生)

尚 和 会 通 信

一、尚和会会報有料制について

今、お読みの尚和会会報は有料制です。年間千円（同封の払込用紙にてお振込み下さい）払込用紙紛失の方は郵便口座番号00930331860加入者名「尚和会」宛お願いします。会報発送者・会報千円及び協力納入者に限り翌年発行の会報を送付いたします。

二、尚和会会報の無料配布

その期が、卒業後五年経過ごとに、住所判明者を対象として全員に送付します。また、卒業後五年間は全員に送付します。

三、「同期会開催支援奨励助成金制度」

・助成金交付対象期

尚和会会員が同期会を計画、開催実施しようとするもので、その同期会が卒業五周年以降五周年単位で開催される期であること。なお、卒業後最初の同期会は右記の周年でなくても助成金を交付する。

・助成金の額

五〇、〇〇〇円とする。

・申請の手続き

開催する同期会の代表幹事が書面（同期会助成金交付申請書）にて、尚和会会長宛に同期会開催一ヶ月前迄に提出又は郵送する。（申請書用紙は会長宛請求のこと）

・助成金の交付

「同期会助成金交付申請書」受理後速やかに同期会開催迄に支払う。

なお、同期会に対する助成は同じ期が同じ周年時期に複数の場所で開催さ

れても、尚和会からの助成金交付は、その期に対して一回限りです。また、クラス単位での開催も対象外です。

四、在校生クラブ活動に報奨金制度

クラブ活動に顕著な成績を残したクラブに、活動費の一部を助成する制度です。助成対象は府下大会にて優勝またはそれに準ずるものとします。

在校生諸君の活発な活動を期待します。

平成20年度 評議員会及び理事会予定表

理事会

第1回	H20年5月10日(土)	尚和会議室
第2回	9月6日(土)	会費制 会場未定
第3回	11月8日(土)	尚和会議室
第4回	H21年1月18日(日)	新年理事会 会費制 会場未定
第5回	3月28日(土)	尚和会議室

評議員会

第1回	H20年9月6日(土)	会費制 会場未定
第2回	H21年1月18日(日)	新年評議員会 会費制 会場未定
第3回	H21年3月28日(土)	尚和会議室

各 期 連 絡 先

期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話
第1回	山本 浩一	03-6222-2777	第2回	山本 浩一	03-6222-2777	第3回	山本 浩一	03-6222-2777	第4回	山本 浩一	03-6222-2777

WEB 版非公開



尚和会 平成19年度決算報告・20年度予算

[収支決算] (自:平成19年2月1日 至:平成20年3月31日) (単位:円)

(注)70周年記念事業開催の関係で、前年度の決算締切日を変更した為、19年度の始末は19年2月1日からとなっている。

Table with columns: 科目, 予算, 決算, 差引過不足, 備考, 20年度予算. Rows include 収入の部 (入会金, 会報代, etc.) and 支出の部 (事務費, 備品・雑品代, etc.).

※印1~4については、別途補足説明参照。

[貸借対照表] (平成20年3月31日現在) (単位:円)

Table with columns: 借方, 貸方. Rows include 現金, 郵便振替口座, 普通預金, etc.

以上、報告いたします。 監査の結果、誤りの無いことを報告します。

平成20年3月31日 平成20年3月31日

財務担当副会長 (高13期) 細川 和彦 ㊟ 会計監査 (高3期) 中村千穂子 ㊟
会計 (定13期) 中岸 澄江 ㊟ 会計監査 (高17期) 上村 学 ㊟
会計 (高16期) 中務 公子 ㊟

平成19年度決算報告の補足説明

※1. [総会費]

Table with columns: 内容, 金額. Rows include 尚和会総会・懇親会参加費, キャンセル半額負担金, etc.

※2. [高校70周年協力金]

桜塚高校70周年事業は、学校を中心にPTA・桜塚会・尚和会・振興会で実行委員会を設け、約2年間にわたり準備し会合を重ね、無事成功裡に終了しました。

※3. ※4. 桜塚高校70周年記念誌関係

上記※2.[高校70周年協力金]の内「桜塚高校70周年記念誌」に対し、尚和会は1,500冊分を負担しております(発行総数2,800冊)。

尚和会平成20・21年度役員紹介



副会長 (行事担当) 高15期 上田 幸子
副会長 (総務担当) 高11期 吉田 和久
副会長 定8期 田邊 昭夫
会長 高15期 大畠 光昭



会計 高29期 旭 直子
会計 高16期 中務 公子
副会長 (財務担当) 高29期 山澤 健二
副会長 (広報担当) 高28期 乾 憲隆



東京支部長 高11期 齋藤 良和
会計監査 高20期 郡 守男
会計監査 定13期 中岸 澄江

以上の方々为新役員として平成20年3月29日開催の第5回理事会、第3回評議員会において選任承認されました。

個人情報保護対策について

尚和会では、会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしています。お預かりする個人情報は個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して以下の目的の範囲でのみ利用いたしますので、何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 利用の目的について
①尚和会会報の発行・発送
②各役員会開催案内等の告知文書の発送
③尚和会が会の運営を遂行するにあたり、必要とする年会費徴収
④その他、会の活性化を図るため、必要と思われる作業等合法的な目的のために活用する場合
■ご提供いただいた個人情報については、尚和会が責任を持って管理いたします。
■尚和会は、ご提供いただいた個人情報を正確に処理いたします。
■尚和会では、信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。
■ご提供頂いた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。
ただし、以下のような場合は、例外として情報を開示できるものとします。
・法令の規定による場合
・ご本人ならびに公衆の生命、健康、財産等の重大な利益を保護するために必要な場合。
■個人情報は、原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができます。

お問合せ先
〒561-0881 豊中市桜塚4-1-1
大阪府立桜塚高等学校内 尚和会事務局
TEL06-6853-2244/FAX06-6853-0825

# 創立70周年記念事業の 寄贈・記念品一覧

## ■実行委員会取扱分

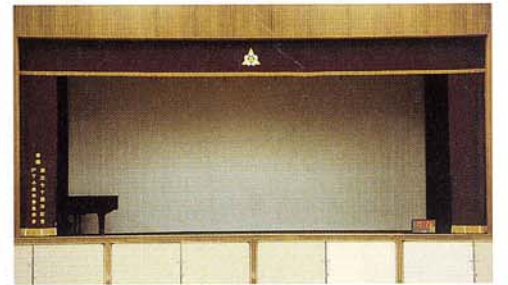
1. 体育館舞台用 一文字幕 袖幕 前幕
2. カップ・賞状用展示ケース (玄関右側に設置)
3. 全・定楽器支援 (全・チューバ、全・クラリネット、定・消音ドラム)
4. 彫塑像 (若者) 修復・台座設置 (15期生有志による貴重な像を修復し、下足室前に設置)
5. 正門前照明用ポールライト設置
6. 応接室用エアコン
7. テント 2張り (体育大会等に使用のため)

## ■各団体取扱分

1	先行実施	平成15年度実施	視聴覚教室 エアコン設置	PTA・尚和会
2	先行実施	平成18・19年度実施	学校正門前 枝垂れ桜補修	尚和会
3	協賛実施	平成19年度	製氷機	桜援会



カップ・賞状用展示ケース



体育館舞台幕



楽器 (チューバ)



枝垂れ桜



視聴覚教室エアコン

### 高校九期斎藤忠芳氏叙勲受章

広報委員会

平成十九年春の叙勲で、斎藤忠芳氏が黄綬褒章を五月六日に経済産業省から受章され、その後皇居にて天皇陛下に拝謁されました。誠にめでたうございます。心よりお慶び申し上げます。氏はポントン(株)代表取締役社長で、協同組合関西フアッション連合の副理事長の要職に就かれています。

### ※お詫びと訂正

昨年の会報Vol.55にて、一色貞輝氏(前豊中市長)の叙勲受章の記事で、高校六期を高校五期として掲載いたしました。訂正してお詫びいたします。

## 新聞投稿より

### 先輩へ

高三期 井塚 弥生  
(旧姓 白川)

N子先輩、お疲れさまでした。先日、市民会館であった母校の創立七十周年記念式典。私たち軽音楽部OBが無事出演できたこと、うれしく思っています。

先輩から、久しぶりに歌いましょう、とメールが来た時、私は軽い同窓会のノリで参加を決めました。だけど、あの練習のオニと言われた男の大先輩が、やるからには恥ずか

しくない演奏をしようと思った時、こ  
うなったら本気で、と思いました。

曲名は「翼をください」。こんな  
純真な歌、今の私たちに歌えるか  
な、と思ったりもしました。それで  
も、毎回五時間以上に及ぶ練習に  
も、皆、抜群の出席率でした。重  
い楽器とアンプを抱えて二時間かけ  
て来る仲間もいましたね。練習を重  
ねるたびに昔のカンがもどつてき  
て、上達も実感しました。それなの  
に、私、本番の舞台袖であがつてし  
まいました。思っていた以上に大き  
な舞台だったから。

その時こう思ったんです。ここ  
に立っているのは私たちだけではな  
い。若くして逝ってしまった仲間、  
病と闘っている後輩、それぞれの事  
情で来られなかった仲間の代表とし  
て、歌うんだと。そう思うと落ち着  
いて歌うことができましたよ。

バンドとコーラス二十八人、現  
役高校生八人による「翼をくださ  
い」は、迫力のある演奏で、校長先  
生も感激されたと聞きました。打ち  
上げで、先輩のマスカラがにじんで  
いたのを、私は見逃しませんでした  
よ。

毎日新聞 平成十九年十二月七日  
朝刊「女の気持ち」掲載

### 仲間のタスキ 未来につなぐ

高二九期 落語家 山澤 健二

昨年十二月、高校の同窓生で駅

伝に初挑戦しました。四年前の同窓  
会を機に、仲間のウェブサイトを立  
ち上げ、交流が続いています。

「みんなで駅伝に出たら、盛り上  
がるやろな」。マラソン好きの再三  
の誘惑に、「今更、何を」と言っ  
てきた四十九歳たち。ところが今回、  
サポーターも含めて、男性六人、女  
性四人が手を挙げました。

出場した大会は十六キロを四人  
でタスキをつなぎます。埼玉県に住  
む二人も駆けつけ、二チームを編成  
しました。ほとんどが駅伝未経験  
者。直前までメールや電話で励まし  
合い、ほかの同窓生も応援してくれ  
ました。

当日は好天。スタート地点には、  
年に二度咲く「十月桜」がチラホラ。  
二度咲くとは、大阪府立桜塚高校出  
身にして、五十代を前にもう一花咲  
かせたい私たちのようです。

寒い中、仲間が応援に来てくれ  
たお陰で、好タイムでのゴール。み  
んな感激して涙ぐみ、卒業式を思い  
出しました。

幸せの黄色いタスキを心一つに  
つないだ仲間たち。それぞれの道を  
歩みながら、見えないタスキをずつ  
とつないで来たように感じます。高  
校時代に逝った友も、青空から応援  
してくれただけ。見えないタスキ  
は、未来につなぎます。

朝日新聞 平成二十年一月六日  
朝刊「声」掲載

# 同期会報告

## 高女一期生会 七十周年記念同期会

十九年度幹部一同

平成十九年七月十一日(水)

「なんで?なんでやの?自分のしたことばつらつらとして、二エース報道に嘔然としたり『遊行期』の私たちです。お元氣そうにしてはるかいら?満八十二歳を過ぎて生かされている不思議をあつめて創立七十周年のお祝いの一期生会に集まりましょう!」

という案内状に、七十年前十二歳だった少女が四十二名参集しました。誰を見ても、今生きていることへの感謝の思いが、一人一人の胸を熱くしていました。明朗・敬虔・奉仕の校訓あ



つての一期生私たちです。今回の写真類・名簿の一切は九州から来られた松村さんのご好意によるものです。ありがとうございます。喜びの一つとしてあることを考えていたのですが、笑って笑っているうちにそのことを忘れてしまっていたことをお許し下さい。来年もきつと元氣そうに見せて、皆様と手をとりあつて、お会いできます様に、一日一日を大切に過ごして下さる様に、切に切に祈りお祈ります。きつとよ!

## 豊中高女四期生会

幹事 岡部佳子 古銭孝子 杉原笑子  
高橋田鶴子 辻 清子

風かおる五月十五日に、私共高女四期会を、グランヴィア大阪にて開催致しました。

当日は絶好のお天気めぐまれましてほつといたしました。出席者は四十名でした。東京や四国からも出席下さいました。

記念撮影のあとなごやかに、おいしい料理をいただき乍ら、みなそれぞれなつかしい思い出話を花を咲かせ、最後には全員で歌を歌いました。

そのあと喫茶室にて、お茶をのみ、なごりをおしみつつ来年の再会を約し散会いたしました。

四期生会は昭和二十八年に発足しまして約五十五回続いて参りましたが、加齢によるおとろえには勝てず平成二十年満八十歳をもって、この会を卒業する事になりました。

来年が最後の集まりとなりますので、大勢の皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますよう、お待ちしております。



## 豊中高女六期生 第二十五回同期会報告

世話人一同

日 時:平成十九年十一月二十九日

場 所:みのお山荘 風の杜

出席者:四十七名

晩秋の箕面は満山見事な紅葉で、どちらを眺めても息を呑む美しさでした。最初に亡き友に黙祷を奉げ、その後、健康を祝う杯を上げ徐々に楽しい宴が始まりました。お招きした、井上まさ先生も御到着になりスピーチを伺って、雰囲気は一層盛り上がったことでした。

井上先生は昨年にも増してお健やかにお見受け致しました。先生から出席者全員に、干支に因んだ、青磁のと



のちがはぐくまれますことを心より念じて居ります。

平成十九年八月二十二日

## 豊中高女七期生 高校一期会

幹事一同

「喜寿記念同期会」を左記により開催いたしました。

日 時:平成十九年三月六日

場 所:ホテル阪急インターナショナル ナル・月華の間

参加者:六十九名

春まだ浅く、梅の蕾もようやくほころび始めた三月六日に「喜寿を祝う同期会」を六十九名の同窓生のご参席のもとに賑々しく開催いたしました。

顧みまずと私達の同期会は、平成十六年の夏に宝塚ホテルで開催してから三年振りの会合でございました。

開宴に先立ち記念写真の撮影後「月華の間」に集い、亡くなられた恩師や級友を偲び全員で黙祷を捧げました。

この会合に先立ち、事前に同期会の今後の運営について皆さんからアンケートを頂いておりましたが、今回の「喜

豊中高女五期生会  
同期会一同  
ほむら野の中にも、生かされて生きて来ました私達五期生は八十路を目前に会を閉じることに致しました。つきましては引きついで会計を精算して七万四千円を尚和会に寄付させていただきます。



「寿を祝う会」をもって同期会を終わりにすることをご了承いただきました。奇しくも母校桜塚高校が本年七十周年を迎え、記念総会をヒルトン大阪で開催されること等を尚和会理事よりご案内がありました。その他諸々の報告事項が終わりましてから乾杯をし、その後は賑やかに旧交を温めながら近況を語り合い、楽しい一時を共に過ごしました。健康で皆さんにお逢いできましたことを喜びあいながら、最後に高女時代の校歌を合唱しお開きに致しました。

遠路からお集まり下さいました大勢の皆様、幹事一同から感謝しながら、お名残はつきませんでしたがお別れいたしました。

最後になりましたが、母校七十周年をお祝い申し上げますとともに、更

の年に同時開催もしてきた四期会なので、もう次はないとの思いで七十周年の当日、同ホテル四階金閣の間で開催した。関東からの参加者十名、総勢八十名が集まった。いつも段取りを一手に引き受けて



なる発展をご祈念申し上げ、ご報告と致します。(古川貞子・記)

**高校四期生 卒業五十五周年高四期会**

中右 古信

「過ぎし日の想いあらたに花の宴」  
「余生にもまだある未来風光る」

この二つの句は今回の四期会の案内文の冒頭を飾った世話人のひとり北野定子さんの作である。

母校創立五十、六十周年記念総会

いいる松田祝三君の案内文に今回初めて女性からクレームがついた。それは「今回のキーワードは、最終章」という言葉、男性からするとうなずけるのだが、どうも女性には七十歳台は通過点、まだまだこれからという意識が強いことがよく分かった。

いつも不思議と、あの昭和二十三年春の突然の男女共学時の刺激的な出会い、想い出話は尽きない。

今回は、「喜寿」を祝おうと約束をしている。なお、昭和シングル会の音楽を楽しむ催しは毎年開戦と終戦の月に宝塚ホテルで催されている。参加希望者は連絡ください。

**高校九期 卒業五十周年及び古稀を祝う会報告**

幹事一同

「11・11」？年々物忘れが進む年代になり、誰もが覚えやすい日にやろうと、平成十九年十一月十一日、地元ホテル・アイボリーで、卒業五十周年と古稀を祝う会を一年繰り上げ、同時開催を決定。

そして半年後、当日は尚和会・田中渡会長に出席を頂き、東京をはじめ遠方組も含め六十一名の元気な顔、顔が勢揃い。桜塚高校で出合い、五十年間に渡って深めてきた友情をさらに深めるため、今回はビンゴゲームなどはやめ、たつぷりと歓談の時間を設けました。

いよいよ定刻の一時、記念撮影も終わり、藤田君の名司会ぶりで物故者への黙祷、恒例の挨拶、乾杯と進む中、ホテルの心つくしの料理を舌づつみしながら、青春時代の思い出、近況報告等に大きな話し声や笑い声が湧き上が

**高校十九期 卒業四十周年同窓会**

海老 一夫

来年で還暦を迎える十九期生（一九六七年昭和四十二年卒業）の四十周年同窓会が十月十四日大阪市内のヒルトンホテルで開催。水田紀久、柳沢千吉、相沢昂、永広富延先生達四人を迎

り時間のたつのも忘れ、アツという間に楽しいひとときが過ぎ去りました。最後に全員で校歌を合唱し再会を誓い合いながらも、名残りがつかず二次会を呼びかけたところ三十名近くが集まり、ホテルの中庭で更なる旧交を温めることが出来ました。

さあー七十歳！ガンバロー

（追記）次期新代表幹事に宇多良勝君、会計に多田満智子さんが選出されました。



え、男性三十二名女性三十九名が出席した。前回から五年が過ぎ、昨年急逝した奥田敏輝会長ら、これまで亡くなった同窓生に黙祷。水田先生の音頭で乾杯したあと、出席されなかった先生方の近況が報告された。前回まで立食だったのも今回は全員座席についての会食だった。お楽しみ抽選会も外れク



定八期  
卒業五十周年記念同期会  
「久しぶりっどい」の開催

岡野純之助

梅の花香る三月二日の日曜日、豊中駅前ホテルアイボリーに於いて、私達の同期会「久しぶりっどい」を開催いたしました。

時はあたかも卒業式の季節、私達も卒業五十周年を迎え、いつもより多くの仲間が集いました。卒業した九十六名の内(他界した人十名)(連絡の

取れない人二十八名)そしてあいにくの欠席が二十八名で当日元気な姿で三十名が参加しました。遠くは宮崎県、小豆島、淡路島からの参加者もあり賑やかな開会となりました。

クラス担任をして下さった三名の先生の内二人は既にお亡くなりになつておられ、五十年の歳月の永かったことを思い知らされました。他界された方々への黙祷、校歌の合唱、乾杯と進むにつれ参加者の気持も表情もタイムスリップし、懐かしさと友情に包まれた空間をつくりだしていきました。

近況報告では百歳まで生きようと宣言する人もあり、お互い健康第一とうなずきあいをしました。

趣味も先生、名人クラスの人もあり一人一人の年輪を重ねた話を傾けたりしているうちに予定の三時間はあつと云う間に過ぎ、今秋に旅行にゆく計画も提案され実行に移すことになりました。

次回の幹事を選出し、平成二十二年五月十六日(日)に再び集うことを決め散会しました。

### 同期会開催予告

#### 高女一期生会

日時：平成二十年十月十九日(日)  
十二時開催

場所：ホテルアイボリー

幹事：山本英子・島津澄子  
和田小夜子・石崎裕子

豊中高女卒業六十五周年記念二期会

日時：平成二十年七月八日(火)  
十一時~十四時

場所：ホテルグランヴィア大阪

会費：五、〇〇〇円

※詳細は後日ご案内します。

昭和十三年に木の香も新しい建築中の校舎に入学しました。えんじ色の屋根に緑色の壁。屋上には校訓の象徴である明朗、敬虔、奉仕の三つの鐘が、カランコロンと鳴り響き、昭和の激動の時代を五年間奏しく、それなりに青春を謳歌し、昭和十八年に卒業しました。

それから六十五年もの年を重ねましたが、久しぶりにお目にかかり度く、ご参加をお待ちしています。

豊中高女七期生卒業六十周年  
有志同期会のご案内

日時：平成二十年七月七日(月)  
受付：午前十一時~三十分

場所：ホテルアイボリー(阪急豊中駅北)

会費：三千円

高女七期生は戦中、戦後女学生時代を送り波乱万丈の体験世代です。今年六十周年を迎え感無量でございます。高女七期会は昨年の(喜寿の会)で終焉しましたので、今回は有志で右の様に集まり旧交を温めたく、ご案内申し上げます。

世話人 藤井妙子 黒田長子  
森田玲子 出口珠子  
安達良子

◎ご賛同の方は六月末迄に葉書で下記へ連絡迄。

高校十五期卒業四十五周年  
記念同期会のご案内

日時：平成二十年十月十八日(土)  
午後三時半開宴

会場：ヒルトン大阪(JR大阪駅前)

会費：一〇、〇〇〇円

その他：本会報に同封の葉書にて出欠のご返事を下さい。

●問い合わせ先  
会長 大島光昭

### 第六回尚和会東京支部総会開催

日時：二〇〇八年十一月九日(日)  
十二時~十四時

場所：品川プリンスホテル  
(JR品川駅高輪口すぐ)  
二十四F宴会場「軽井沢」  
アトラクション

藤沢俊樹(チェロ)  
谷合千文(ピアノ)

会費：一〇、〇〇〇円

尚和会東京支部長 斉藤良和

	高女 1期~ 8期	併中 1期~ 2期	高 1期~ 60期	定 1期~ 58期	定通研修 1期~ 8期	旧職員	現職員	現職員 (定時制)	合計
会員数	2,061	229	26,931	4,304	97	790	80	58	34,550
物故者	404	18	736	99	0	174	0	0	1,431
住所不明者	272	44	7,369	2,312	19	188	0	0	10,204
住所判明者	1,385	167	18,826	1,893	78	428	80	58	22,915
判明率	86.8%	80.8%	72.6%	46.3%	80.4%	76.2%	100.0%	100.0%	70.5%

### 尚和会会員数(単位：人)

- 退職
- 全日制 平成19年度 和田
  - 国語 木保
  - 世界史 池本
  - 体育 黒田
  - 教務補助 桑原
  - 数学 小久保
  - 事務部長 藤森
  - 政経 岸本
  - 生物 西谷
  - 転入
  - 副校長 関
  - 事務部長 太田
  - 首席 佐藤
  - 国語 小寺
  - 世界史 竹山
  - 地理 谷口
  - 化学 荒竹
  - 体育 瀬戸
  - 数学 尾藤
  - 養護 宇高菜
  - 平成20年度
  - 退職
  - 地理 渡邊
  - 体育 寺口
  - 数学 尾藤
  - 転出
  - 国語 川本
  - 数学 河野
  - 化学 浦田
  - 保健体育 森本
  - 転入
  - 国語 松村

### 教職員人事異動

# WEB版非公開



五月二十  
結婚記念日  
目)出席は  
と聞いたり  
さで一杯で  
けいにそう

七十周年  
出席出来な  
居ります。  
ようがます  
す。

創立七十  
す。会報あ  
病息災に、

七十周年  
役員の皆様  
す。

七十周年  
同窓生の集  
の発展と活  
「東京支部」

母校の十  
和十三年が  
ます。私も  
すよう余生  
す。

尚和会々  
致し、又お  
ます。この  
しました私  
載して頂き  
制服が私  
かしく思い

# WEB 版非公開

役員のか  
素晴らしい  
しています  
二〇〇十  
た。お世話  
ます。あり

創立七十  
す。御盛會

サラリー  
は東京港区  
シヨンの繁  
す。皆様の

創立七十  
す。鶴崎熊  
い一杯です

幹事役の  
若かりし日  
念乍ら總會

会報を注  
ざいました  
祈念してお

卒業四十  
会、四十五  
尚和会の委  
かけますが

なつかし  
とうござい  
庭菜園もや  
からは忙し

七十周年  
ね懐しく読  
見つけたい  
しく思いま

# WEB 版非公開

元気な中  
に出席しよ  
た。

広報楽、  
広報委員長

趣味(コ  
ざり絵・旅  
しています

創立七十  
ませていた  
つもご苦労

「七十周  
せて戴きま  
す。」「七十  
お世話して

七十周年  
益々発展さ  
ます。

七十周年  
す。益々の

上村様永  
今年還暦迎  
せて頂きま  
三十名近く

七十周年  
三期上の姉  
つも桜塚を

七十周年  
各方面で  
思っており

会報あり  
も恵まれ、

# WEB 版非公開

ます。總會  
が、一万一千  
ご発展をお祈

創立七十  
す。いろいろ  
て、ありがとう

今回は出  
おたよりをみ  
すべき母校松  
す。

会報懐し、  
幹事様のご苦  
五月十六日

旅行の為總會  
宜しくお伝  
役員の皆様  
います。總會  
す。今後共ト

創立七十  
す。なつかし  
て励まされま

今後の生  
よう。また同  
創立七十  
す。更なる御  
上げます。

尚和会会報  
集号)御送付  
ました。

七十周年  
桜の季節にけ  
す。

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

# WEB 版非公開

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

御盛會を  
七十周年  
倉田先生の  
感動しまし  
久し振り  
た。特集号  
内容でした  
七十周年  
五月二十日  
りますよう  
仕事で在  
るのに何故  
また訪れて

# WEB 版非公開

総会、つ  
した。しか  
私等の年代  
子供いませ  
の連中はヒ  
同窓会ため  
ん。

東京に來  
達が、桜塚  
り。とても  
たんぽぽの  
敵な花を咲

七十周年  
その太い幹  
て頂けてう

おめでと  
端くれとし

○七年三  
の子理桜(ハ

お陰さま  
稀)を迎え  
祈っております

大阪府立  
年記念おめ

桜塚高校  
います。私  
ぶてしく生

思議で仕方  
うこと尚和  
お世話本當  
関心させら

# WEB 版非公開

## 山岳部OB会 百回記念を視野に入れて：

高三期 高谷 善雄

山岳部OB会は一九六七(昭和四十二年)十月の第一回会合以来、長つづきして、去年四月第八十八回を「米寿の会」と称して、昼は山を歩き、夕刻親睦会を開きました。そして二年後の二〇一〇(平成二十二)年春には、百回のメモリアル集会となります。それまで現メンバー二十八(部の存廃によりOBメンバーは高三期から高十九期どまり)の息災を祈る次第です(現在まで物故者五人)。

その百回メモリアルイベントとは別に、次のようなことを企画しています。故後藤藤敬直先生が七十七歳の時、北アルプス・白馬岳山系の春スキーツアーを完走されました。高三期の高谷がガイド同行したのですが、冬期山小屋のエイジレコードになっています。二年後、七十七歳になる高谷が同コースに挑戦することになっています。

今年の四月は、第九十二回の集まりとして、まだ新緑の浅い六甲の山を歩き、明るい谷間で「鍋」を囲みます(この記事は三月起稿)。今流行の熱年登山を横目に、メンバーの何人かは四季の自然から毎回新しい発見を楽しみに山野へ出かけています。

写真は、第八十九回の集まり(二〇〇七年十一月三日)で、六甲ゴロゴロ岳へ登った時のものです。「旧職員一人、高三期一人、高十一期三人、高十七期一人(東京から参加)、高十八期四人、高十九期一人(夜、高十七期一人参加)」



## 平成十九年度

## 新年理事会・評議員会

行事委員 渋谷伊三雄

尚和会理事会と評議員合同の新年会が、平成二十年一月二十日(日)に中津の「ラマダホテル大阪」にて五十八名の出席にて、開催されました。

田中会長の挨拶にて始まりましたが、その冒頭に、今年の選抜高校野球にて、桜塚高校が、「二十一世紀枠」に大阪代表として推薦されていたという話をされ、場内はドツとわきました。結果的には近畿地区代表としては選ばれず、残念乍ら出場とはならなかったようです。しかし、甲子園球場にて校歌が流れる日も、そう遠くはない気がするの私だけではないと思いま

す。その後、西郷学校長より、母校の現状等をご説明頂き、又、各委員会からの報告があり、会食となりました。ホテル自慢の料理を堪能しながら、新年会恒例のビンゴゲームを楽しみました。今年には行事委員会で用意した賞品の他に、田中会長より「会長賞」毎年多数の寄贈を頂いている「北之坊賞」それにホテルからも賞品を提供頂き、参加者全員が当たるとい、異例のビンゴゲームとなりました。



# WEB 版非公開

平成十九年物故者芳名  
(平成19年1月1日~12月31日まで)



平成十九年度 会報代・協力金

◆協力金をありがとうございました◆  
(金額は納入合計額)

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

WEB 版非公開

# WEB 版非公開

# WEB 版非公開

# WEB 版非公開

## KIIP (廣濟堂国際インターンシッププログラム) について

**国際インターンシップ事務局が提供するプログラム**

詳細・カウンセリングは  
お問合せください。

- メルボルン社会研修コース
- コパスハーバー空想研修コース
- バンクーバー社会研修コース他、グループの目的にあわせてアレンジいたします
- 研修期間: 2～3週間
- 研修場所: オーストラリア(シドニー・ブリスベン・メルボルン) カナダ(バンクーバー)
- 参加資格: TOEIC800以上(コースにより異なります)

グループ向けに個別アレンジ  
廣濟堂オリジナルプログラム

英語力を大に伸ばす!  
English+プログラム

本気で働く!  
インターンシッププログラム

研修期間: 1年以内

●研修場所: オーストラリア(シドニー・ブリスベン・メルボルン) カナダ(バンクーバー) イギリス(カンタベリー)

研修期間: 6週間以上

●研修場所: オーストラリア(シドニー・ブリスベン・メルボルン) カナダ(バンクーバー)

大学の休暇期間を利用して短期プログラム

●お問い合わせ ●株式会社廣濟堂 国際インターンシップ事務局  
〒560-8567 大阪府豊中市堂池西町2-2-1  
E-mail:intem@net.kosaido.co.jp  
フリーコール:0120-956-032 URL:www.kosaido.co.jp



# WEB 版非公開

### 編集後記

雪見障子の硝子越しに、今年も、雪柳がこぼれ落ちそうにたわわに咲き、淡いピンクの木瓜の花は、棘の枝に鈴生りで、まるで押しくら饅頭の賑わい。八重樞の花弁は、鶯の啼き声を拾う集音マイクのように。

今年で最後の編集後記のペンを執りつつ、少々感慨深げな気分を庭を眺めています。編集という作業をこの尚和会で初めて経験し六年。毎年年末から四月初旬迄の土日は、ほとんど原稿依頼、編集、校正で潰れましたが、今から思えば楽しくもありました。高女期の中には、高齢で今回が最後の同期会にしますとの原稿を頂くと、永い間、生きる姿勢が全くおれずに尚和会の活性化にご尽力下さったことに対し、感謝の念に耐えません。

新年度からの会報編集は、高二十八期の乾憲隆君(広報担当副会長)にバトンタッチします。小生よりぐっと若いパワーと感性で、紙面も大きく様変わりすると思います。ご期待下さい。

最後に、小生本年度から二年間、会長という重責の洗礼を受けました。尚和会の充実・発展、活性化に向け、何卒これまでと同様のご指導・ご協力をお願いする次第です。

大島光昭



# 母校創立七十周年 尚和会記念総会・懇親会

行事担当副会長 上田 幸子

平成十九年度は母校創立七十周年にあたり、従来と異なり、記念すべき総会であるので、おおよそ一年前から準備を開始しました。総会実行委員会を前年の五月に立ち上げ七回の会議を経て平成十九年五月二十日(日)、ホテル大阪にて開催されました。ホテルの大きな校の間いっばいに来賓や多くの恩師の先生方・会員、総勢三百六十名を超える参加で華やかに和気あいあいのなかにも整然と行われました。

総会の第一部は田邊副会長の司会により、まず恩師や同窓生の故人の冥福を祈って黙祷を捧げました。田中会長七十周年記念総会を開催するまでの経過や思いなどを述べられた挨拶のあと西郷校長先生より桜塚高校の伝統と母校に対する同窓生の心情を讃えられた心温まるお祝辞をいただいたあと、来賓紹介、東京支部長齊藤良和さんからの祝電が披露され、各委員会からの報告ならびに十八年度の決算報告・監査報告、十九年度の予算案が報告され第一部は終了しました。

第二部は二十九期生笑福亭仁勇さんの司会で、五期生・前田憲男さん、四十期生・幸田さと子さんの二人のアーティストをお迎えして演奏会が開催されました。まず、華やかな真っ白なドレスでヴァイオリニストの幸田さんが登場され、懐かしい曲、「赤いスイートピー」の軽やかな音色で演奏会はスタートしました。「タイスの瞑想曲」

や「ツゴインルワイゼン」などのクラシックだけでなく美空ひばりの「愛燦燦」など、力強くまた優雅な素晴らしきヴァイオリン演奏に会場はうっとり

と聞きほれました。引き続きジャズ界の重鎮、前田憲男さんが登場されました。「酒とバラの日々」で演奏が始まり、軽やかで大人の魅力が溢れるピアノ演奏の世界に私たちを引き込んでくださいました。前田さんの今回初めて同窓会で演奏することになったいきさつなどユーモアたっぷりのトークに会場は笑いに包まれ、現在大阪芸術大学で教授をなさり、ジャズピアノでは第一人者の前田さんの親しみやすいお人柄に共感を覚えたのは私だけではありませんでしょう。"TIME GOES BY"や「杜葉」、"LOVE STORY"など親しみのあるジャズ音楽を次々と演奏され、最後に幸田さんと夢のようなコラボレーション「私の心はヴァイオリン」で演奏会の幕が閉じました。

第三部はいよいよ懇親会。シッティングオンテールでお料理が運ばれ、高女一期越水ユリさんの乾杯の音頭で和やかに始まりました。宴が進むにつれて各期やグループで写真を撮ったり恩師の先生方のスピーチで会はたけなわ、三時間があつという間に過ぎ、最後に全員で校歌を高らかに合唱し記念撮影で幕は閉じました。

七十周年総会には多くの皆様方のご協力が無事盛会に終わり心より感謝申し上げます。

し上げます。今年度平成二十年度総会は五月十八日(日)ホテルアイボリーで行います。最近とても人気の落語を聴いていただきたく十九期生の桂春之輔さん、二十九期生の笑福亭仁勇さんをお迎えします。若い期の方もぜひ気軽に越しくください。多数のご参加をお待ちしています。

写真撮影・小田進史(高29)



来賓挨拶 西郷正人校長

懇親会司会 山澤健二(高29)

幸田さと子(高40)

前田憲男(高5)

コラボ演奏

校歌歌唱

恩師と共に(高15) 中西昭次先生、高橋桂四郎先生